

社会福祉法人まりも会

清瀨療護園

廣報紙

ほのほの通信

節目の年を迎えて

清瀬療護園 施設長 浅野 穂高

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は清瀬療護園の運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。清瀬療護園施設長として4回目の新年を迎えるに至り、これも一重にご利用者、ご利用者ご家族の皆様、職員、地域の関係名機関のお力添えのおかげと重ねて感謝申し上げます。

令和7年を振り返りますと、我が国初の女性首相の誕生、世界陸上での日本選手の躍動、大谷選手、山本選手、佐々木

西万博の盛況など明るい「コース」がありましたが、一方で記録的な猛暑が長い期間にわたり続き、「令和の米騒動」と呼ばれる現象の一因ともなりました。どうわけ戦後復興と高度経済成長期の日本の象徴である「ミスターP野球」¹⁰ 嶋茂雄氏の訃報は、一時の時代の終焉を感じさせました。施設内の出来事に目を向けると、かねてから標榜している「地域とつながる施設づくり」の具現化に向かって、確かな手応えを感じた一年となりました。¹¹ 利用者が単独で、又は職員を伴い外出していく様子が日常的となり、「Cafe ほのぼの（世の中の喫茶）」を「地域と施設をつなぐスペース」と位置づけ、キッチン（間貸し営業）による新たな集客や料理教室の開

催、子育て世代の方々でも気軽に利用できるように間取りの工夫を行つ等して、施設と地域がまじりあう空間を創出しました。正面玄関横にある多目的室では毎日のように地域の子供たちが遊び、学習し帰る際には「あつがとういわいあした」と元気よく帰つていく様子に田を細める機会も多くなっていました。地域と施設の境界線が良い意味で曖昧になり、気軽に来園できる雰囲気が醸成されつつあります。そして何より、令和7年の最大のトピックスとして、清瀬喜望園、カーサマリモと合同開催した「まりもタウンフェスティバル」の成功を挙げないうわけにはいきません。「」利用者と地域の出会いからの新たな交流を生み出す」コンセプトのもと、各施設職員で編成した実行委員会を中心として、日々のご利用者支援の合間に準備を推し進め、またキヨセラ・プランニング様の

多大なる協力もあり、約3000の方々が来場する盛況となりました。途中、強風の影響によるアクシデントもありましたが、ご利用者、ご家族が地域住民の方々と職員バンドの演奏を通じて笑顔で交流する様子を目の当たりにし、お祭りがもたらす有形無形の意義をその一体感の中に感じることができました。

「」利用者支援については、新たに「支援のあり方検討会」が発足し、職員が主体となり「」利用者第一義」の支援のあり方について定期的な議論が進められています。法人理念に込められた思い「人を中心にして、人つながり、その人らしく生きる」を判断の基準とし、施設、ひいては法人全体の支援のあり方の標準化に向けて、本検討会の取り組みを強化していきます。

いよいよ令和8年は、清瀬療護園開設50周年の節目の年となります。コロナ禍の閉塞の時代からの長い夜が明けて、新しい朝に向けて確かに一步を刻んだ令和6年、そして一步一歩に力強さが増し加わった令和7年を経て節目の年を迎えることができた喜びを、新しい時代の施設運営を担う



まりも神社で参拝！今年もよい年になりますように！



今年も活動室に、職員お手
製の「まりも神社」が登場
しました！

為の力に変えて、引き続き職責を果たしていく所存です。
末筆ながら、皆様のより一層の健勝とご多幸をお祈り申上げ、新年の挨拶に代えさせていただきます。

まりもタウンフェスティバル開催!

地域と歩む

11月3日（月・祝）、「10年先・20年先も地域ひとひらきをテーマに、清瀬療護園・希望園の敷地内にて「まりもタウンフェスティバル」を開催いたしました。

当日は遊谷桂司清瀬市長も

お祝いに駆けつけさせてください、お笑いコンビ「ぶぐる旋風」さんの軽妙な司会で、イベントは賑やかに進行しました。

屋外ステージでは中学生による吹奏楽や迫力の和太鼓、

優雅なフラダンスが披露され、

までもホール内でもキレのあるダンスや落語、パフフルな

歌声が会場を熱狂させました。

また、会場内には焼き鳥や十

勝豚丼などのキッチンカー、

30店舗に及ぶマルシェが並び、

移動動物園も登場。多くの方々

で賑わう一日となりました。

ご来場いただいた皆様に、

心より感謝申し上げます。



渋谷清瀬市長と一緒に



会場全体が活気にあふれ、
利用者の皆さんも
思い思いの時間を過ごされました



まさお日記

まりもタウンフェスティバル 満喫記

まりもホールで次々と披露される芸に、思わず笑いがこぼれた。特に桂蝶の治の落語「弥次郎」は圧巻で、一瞬、寄席の「末広亭」にいるかのような錯覚におちいった。「毎日がこんなに楽しければ」と、幸福感に包まれるひとときだった。

祭りの醍醐味、屋台巡りも外せない。活気あふれるキッチンカーの列を抜け、ようやく手にした「焼き鳥2本！」の味も格別だった。来年も楽しみにしている！

（清瀬療護園 利用者）



フラダンスの素敵なステージショ

[二]シート企画

羽村市動物公園へ

10月16日、秋晴れの中、羽

村市動物公園を訪れました。

今回の目玉は、間近で観察

できる大型動物たち。特にキ

リンのダイナミックな姿には

驚きの声が上りました。

一方で、「ホンザルやヤギ

の愛嬌のある動きや、ペンギ

ン、レッサーパンダなどの愛

らしい姿も楽しかった。

通所企画

秋の遠足に行ってきました！

10月23日 立川市の「ひのいばーと立川立飛」へ遠足に出かけました。

到着後、まずはみんなで集合写真をパチリ！お楽しみの

お昼ごはんは、フードコートでステーキ丼やチャーハン（どちらも大盛り！）、チャーチューメン、月見天ぷらなど、思い思いのメニュー

を選び、専門店の本格的な味を楽しみました。

午後は広い館内をゆっくりと巡り、お買い物や散策を満喫。「また行きたい」という声が聞かれるなど、笑顔あふれる楽しい一日となっていました。



「何を食べようかな？」フードコート前で記念撮影！



「首が長いね！」キリンの前で

ハalloweenハロウイン！仮装でお菓子を楽しむ

10月29日（水）、恒例のハロウインパーティーを行いました。仮装した利用者さんと職員が交流し、おやつにはクリームたっぷりの手作りホットケーキが振る舞われました。ユニットでのお菓子のつかみ取りや、通所のお菓子バイキングも大盛り上がり！賑やかなパーティーとなりました。



2025年 ハロウインパーティ！みんな集まって～！

フルートと歌の調べ

11月6日（木）、マリー・ポピンズの皆様をお迎えし、フルートと歌の演奏会を開催しました。『赤とんぼ』や『里の秋』などの懐かしい歌声に、皆さんは子供時代を思い出しながら聴き入っていました。フルートによる『愛の讃歌』の優雅な演奏もあり、音楽の素晴らしさを堪能する、心豊かな秋の一日となりました。



フルートの音色と歌声にうつとりと聞きに入る皆様



通所では、お菓子バイキングを開催！



庄巻のパフォーマンスに大興奮！

木下大サーカス観賞ツアーリ

11月から12月にかけて、ヨーロッパ企画として立川市で開催中

満たされる充実した外出とな
りました。

11月から12月にかけ、ユーツ
ト企画として立川市で開催中
の『木下大サーカス』を観賞
してきました。計4回にわた
るツアーヒは、多くの利用者
様が参加されました。象や虎
のショーや、空中ブランコなど
の大迫力な演技を堪能した後
は、ファミリーレストランで
の食事も楽しみ、心もお腹も



いくの日記

サーカス見たよ！



してしまいました。バイクの球体走行や象の登場など、どれも迫力満点でした。サークルスは人生で3回目、久しぶりに素敵な思い出が、また一つ増えました。

(清瀬療護園 利用者)



サーカス観覧記念！会場の大きなテントをバックに

ボッチャ大会開催

12月17日、東京都の「障害児・者の運動習慣定着支援事業」の一環として「清瀬療護園杯ボッチャ大会」を開催しました。13名の参加者が4チームに分かれ、特製の「的」を狙うアレンジルールで激突。力強い投球や緻密な一投に会場は大盛り上がり。ボランティアの方々に見守られながら、スポーツの秋（冬）らしい白熱した試合を楽しみ、心地よい汗を流しました。

驚きの連続！ クリスマス会

12月24日(水)、恒例のクリスマス行事として「マジックショー」と「マジカル」を楽しみました。



魔法のような手品に釘付けの皆さん



白熱したボッチャ大会！まりもホールにて



あたましておぬでどうかが
います！ 今年もイベントを
中心に、清瀬療護園の魅力を
たっぷりお届けします。本
年もどうぞよろしくお願ひい
たします。（須永）

編集後記



炊き出し訓練を実施しました

11月26日、園のプロパンガスと大鍋を使用し、数年ぶりに炊き出し訓練を行いました。レトルト食品の湯煎手順などを確認し、災害時に備えた実践的な訓練となりました。